

公共事業に係る効果等について

道路改良事業

国道204号(佐志バイパス)

(道路課)

事業概要

事業名	道路改良事業
路線名	一般国道204号(佐志バイパス)
所在地	唐津市神田～佐志
工期	昭和58年度～平成19年度
総事業費	約129億円
事業内容	道路改良

$L = 5.2 \text{ km}$ $W = 13.0(25.0) \text{ m}$ (暫定2車線)

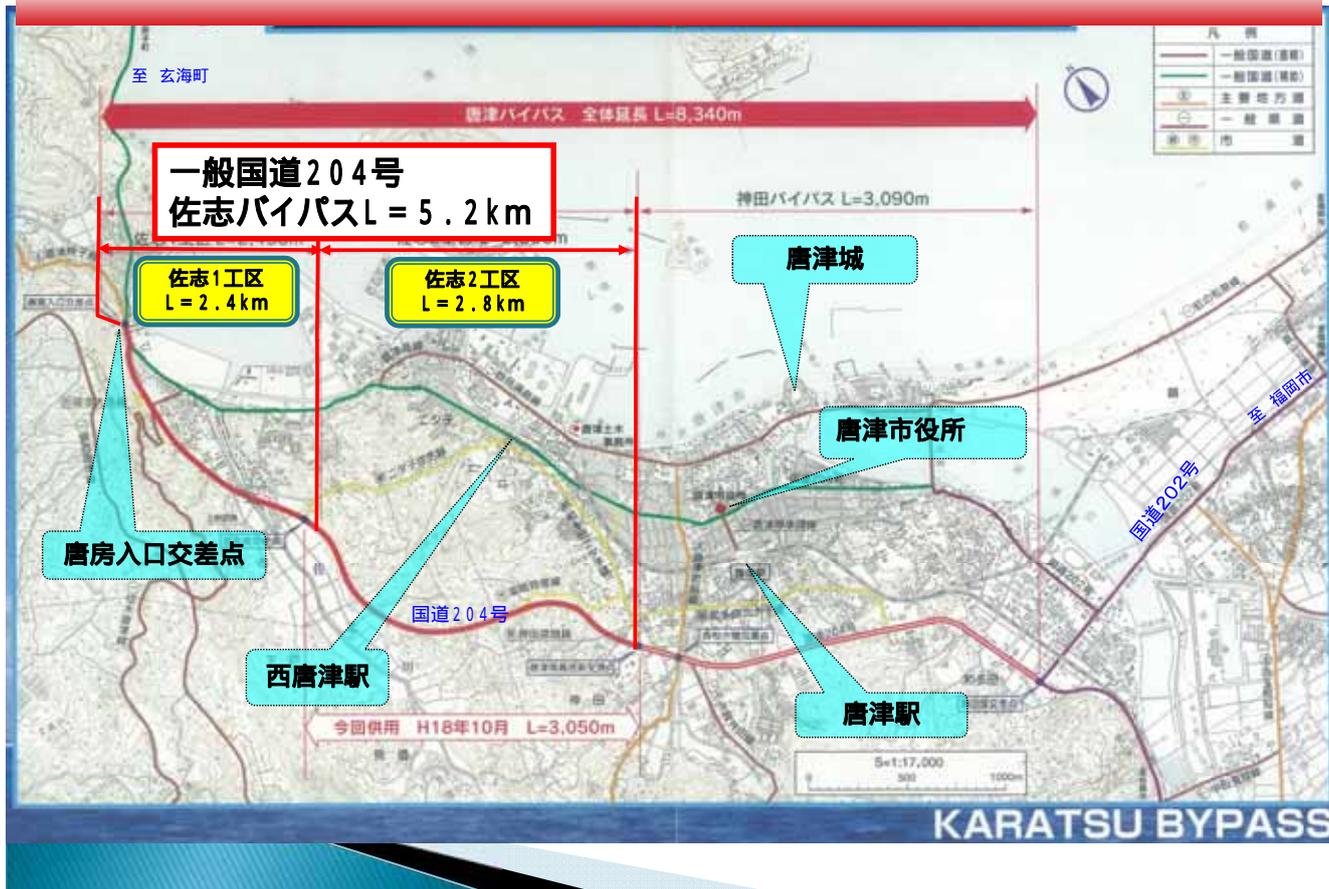
整備前状況

唐津市の中心市街地では、交通混雑が発生しており、主要渋滞箇所となっている唐房入口交差点を中心としてピーク時間帯の渋滞がみられる。

道路整備状況

長松大橋交差点から唐房入口交差点の区間で、市街地を経由した走行と比べて、約7分の時間短縮が得られている。また、開通時(平成19年度)の調査によると、唐房入口交差点付近で、最大約1kmの渋滞長の解消が計測された。

事業位置



○背景と目的

- ・唐津市中心市街地の交通混雑
- ・東松浦半島地域・重要港湾唐津港へのアクセス機能の低下

よって

- ・通行車両の円滑な走行確保
- ・物流の効率化の確保
- ・旧道沿いの生活環境の改善

そのため

- ・バイパス道路整備

整備前(旧道)状況

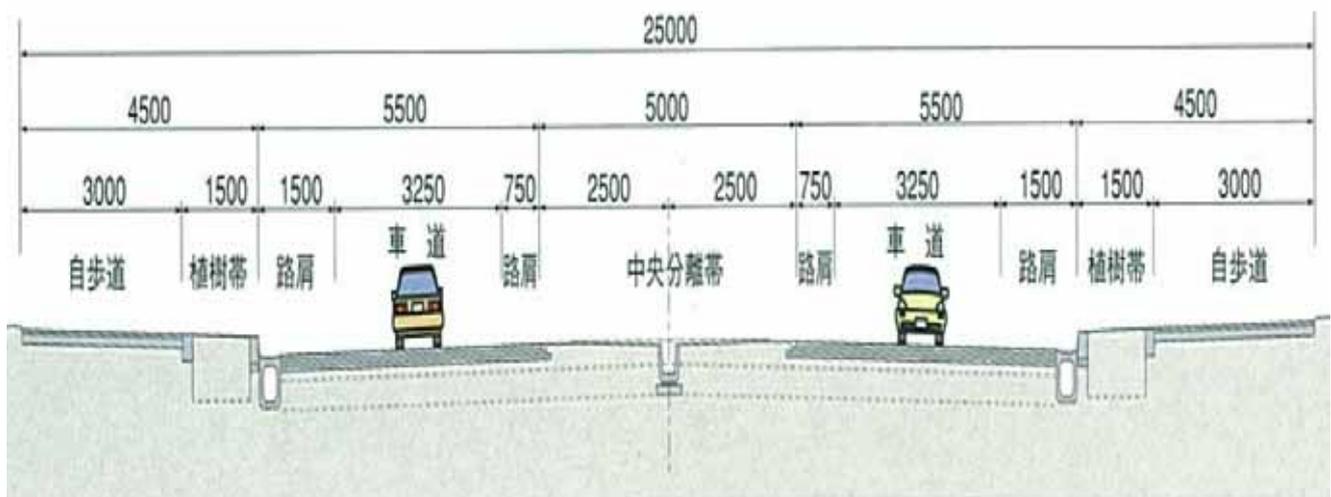
唐房入口交差点付近で慢性的な渋滞!



市街地での旅行速度の低下!



○整備計画(標準横断図)



整備状況写真

〈神田バイパス〉

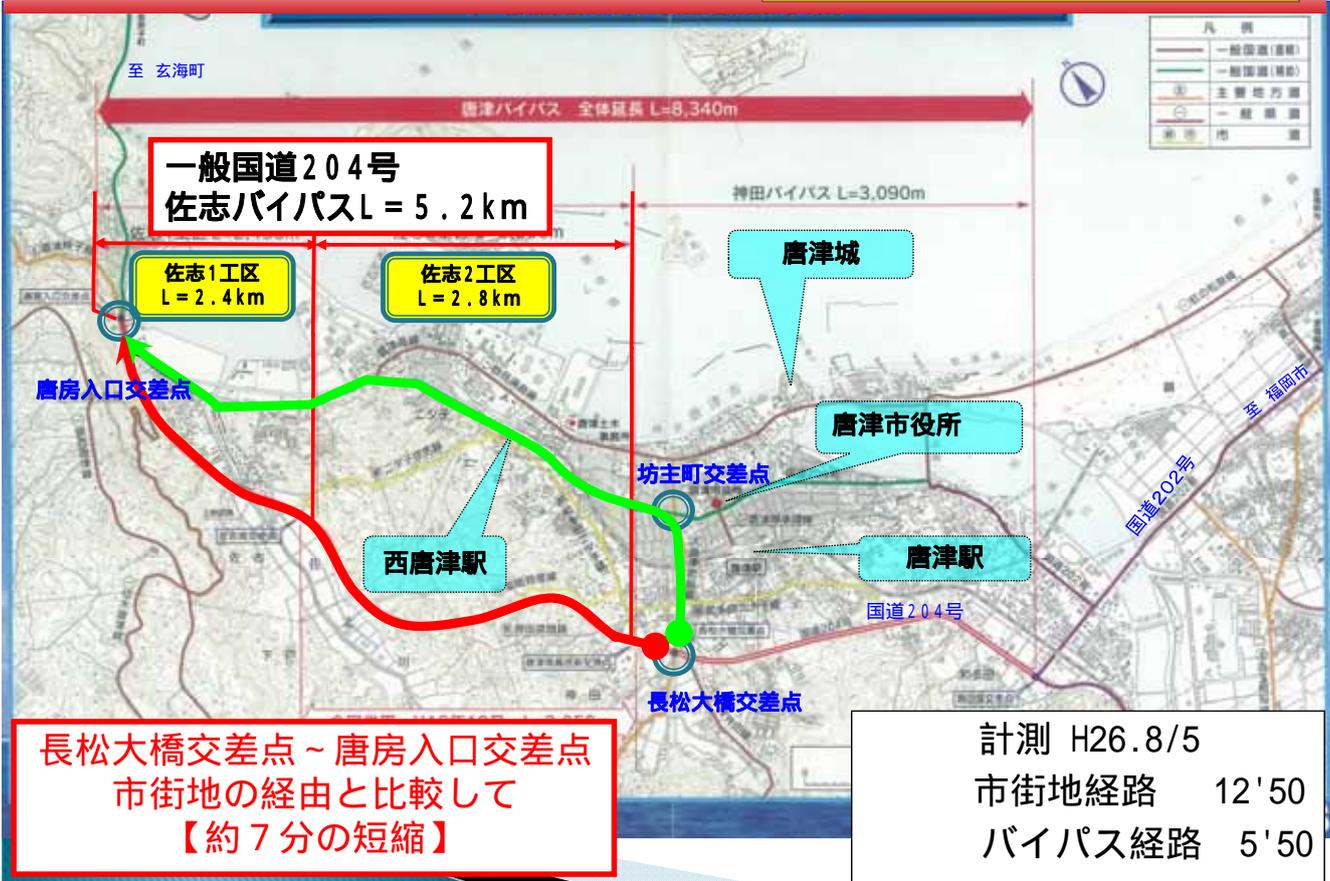


〈佐志バイパス〉



整備効果について

佐志バイパスで約7分短縮



整備効果について

旧道の交通がバイパスに転換



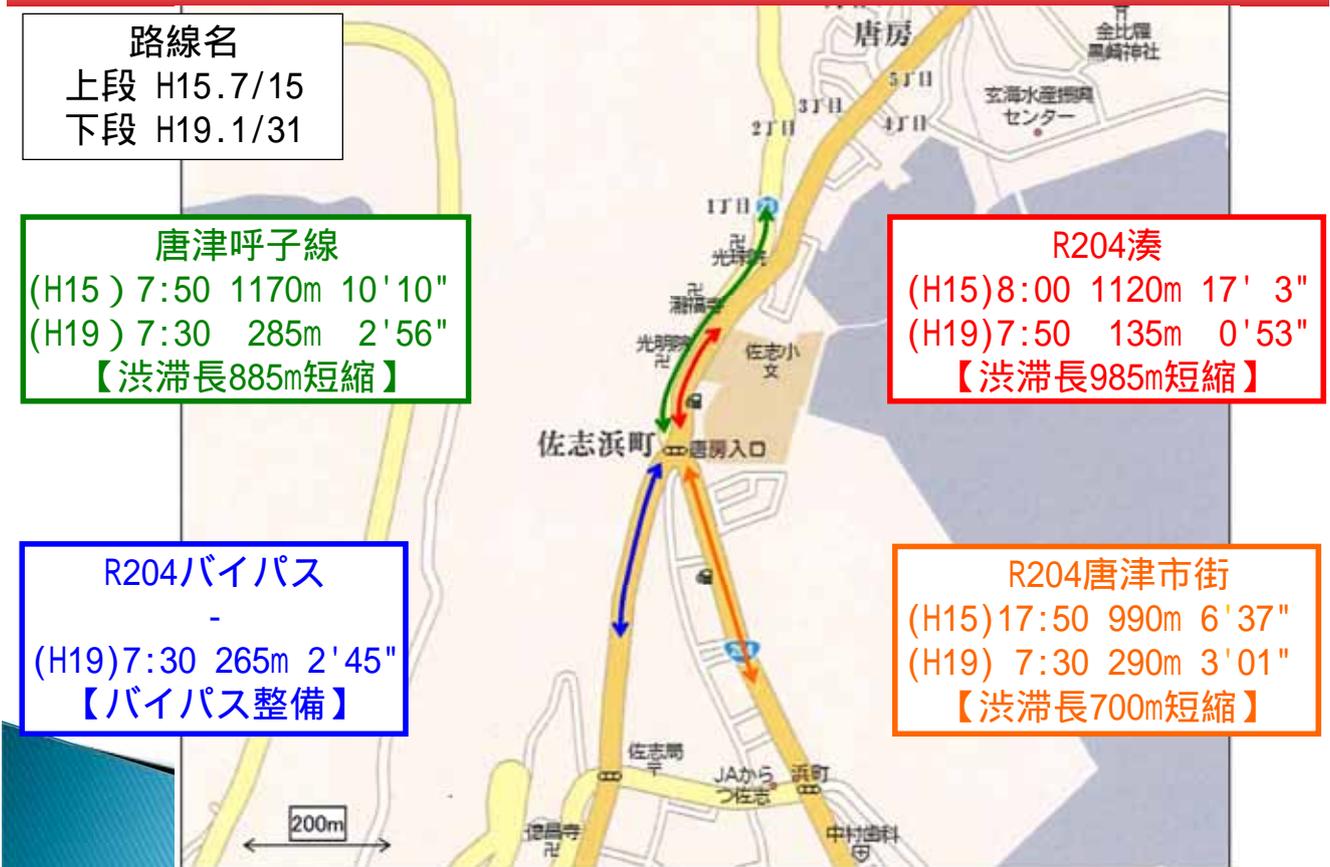
平日24時間交通量(道路交通センサス)

単位:台/日

路線名	H11	H17	H22
★ 唐津呼子線(旧204号)	12,486	7,898	6,603
☆ 国道204号(佐志バイパス)		9,185	12,512

整備効果について

唐房入口交差点周辺の渋滞緩和



県民の意見

【メリット】

通行の時間短縮となった。

旧道の204号の渋滞緩和となった。

便の良い道路が出来たことによりまちづくりの可能性が広がった。

両側に視界を妨げるものがないため安全な走行が可能となった。

【デメリット】

旧道付近の商店街ではなくバイパス沿いの大型店舗へ行くようになった。また、バイパスを利用して大型店舗へ行くようになった。